

日本学術会議

若手アカデミー全体会議(第26期・第2回)

議事録

日 時 令和6年1月10日(木) 12:30~15:30
会 場 日本学術会議6-C会議室 及び オンライン

出席者

現地：小野悠、標葉隆馬、岩崎渉、南澤孝太、木村草太、武田秀太郎、門田有希、川口慎介、大西楠テア、櫻田涼子、中谷武志、藤岡沙都子、小川剛伸、久保田好美、田川義之、河内山拓磨

ビデオ：河岡慎平、廣野陽子、仲上豪二郎、田井明、坂井南美、岡田随象、緒形ひとみ、八尾史、山内紀子、菅野早紀、加納圭、樽野陽幸、堀美香、清水真理子、安田仁奈、富永依里子、武田宙也、實藤和佳子、石川麻乃、川端美季、藤井一至

※事務局：若尾公章、上野倅奈

議 事

(1) 26期の活動方針と分科会活動の方向性について

25期に発出した「10の課題」に関する見解に基づき、具体的な実現にむけた各種ステークホルダーとの議論を進めること、Webメディアやシンポジウムを含めた多様なコミュニケーション手段を活用して社会への発信を進めることを基本方針とすることが確認された。

分科会については、人材育成、業界体質改善、分野横断・越境研究、国際、地域連携、産学連携、情報発信の各分科会に加え、ワークライフバランスに関する分科会の設立可能性に関する議論を行う、地域連携と産学連携の統合可能性に関して検討することが確認された。

(2) 各分科会の具体的な活動内容に関する検討

各分科会の設置に向け、個別グループに分かれてそれぞれの活動方針について検討がなされた。業界体質改善とワークライフバランスは1つの分科会に統合した上でワークライフバランスを主なトピックとすることとした。地域連携と産学連携については、地域連携とイノベーション創出の2分科会を独立して設置し連携しながら活動することとした。

(3) 26期の分科会活動設置の提案

人材育成分科会（仮称）、ワークライフバランス分科会（仮称）、地域連携分科会（仮称）、イノベーション分科会（仮称）、越境分科会（仮称）、国際分科会（仮称）、情報発信分科会（仮称）を設置する方針が承認された。今後、各分科会で設置提案書を作成し、メンバーの参加意向調査を行い、分科会の設置を幹事会に提案することが確認された。